

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	特別企画展事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	01	05
政 策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施 策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	井口 仁志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民全般	意図	流山市市制施行50周年を記念し、日本を代表する日本画家の後藤純男氏の作品展を開催して優れた美術品を鑑賞する機会を提供し、展示会を通じて文化芸術の振興を図る。
事業内容	流山市市制施行50周年記念事業として、流山市生涯学習センター第1、第2ギャラリー及び小ギャラリーで、日本を代表する日本画家の後藤純男氏の作品展を実施。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市市制施行50周年記念事業として、平成29年1月22日から2月21日まで開催。来場者数は10,830人。有料ではあるが多くの来場者があった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	入場者数			10,830	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				31,878,617			
事業費(b)(円)				11,283,617			
うち一般財源				11,283,617			
職員給与費(c)(円)				20,595,000			
人役・職員(人)				3.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新規事業により記載なし	③取組の課題	広く文化芸術の振興に努めたい。
②今年度(H28)に実施した取組	新規事業により記載なし	④今後の改善計画	幅広く文化芸術の振興に努めたい。